

平成30年度第2回大阪府立体育会館等 指定管理者評価委員会 会議概要

〇 日 時：平成30年12月14日（金） 15：30～17：30

〇 場 所：大阪府立体育会館フリッツホール

〇 出席状況：出席委員 3名（小林 幸治、苅野 真吾、山岡 秀雄）

※下線委員長代理

欠席委員 2名（奥村 圭、岡澤 祥訓）

※下線委員長

（事務局）教育庁保健体育課 首席指導主事1名、総括主査1名、副主査2名、主事2名
傍聴者 0名

1 開 会 事務局が開会宣言

2 あいさつ 大阪府教育庁を代表して保健体育課首席指導主事があいさつ

3 連 絡 奥村委員長欠席のため、大阪府立体育会館等指定管理者評価委員会規則第4条第3項により、予め指名を受けた小林委員に委員長代理を務めていただく。

4 議 事（委員：▲、事務局：△）

委員長：大阪府立体育会館等指定管理者評価委員会規則第5条第2項により、本日の出席は、委員3人で過半数以上となっており、本委員会は有効に成立していることを確認。

（1）報告事項

①指定管理者自己評価について

②大阪府教育庁教育振興室保健体育課評価結果について

（2）議題事項

①評価委員による評価及び指摘、提言について

・資料2（平成30年度指定管理運営業務評価票）に沿って、事務局が説明

②今後のスケジュールについて

・資料1（大阪府立スポーツ施設の指定管理者の評価について）に沿って、事務局が説明

議題① 評価委員会の評価及び指摘、提言について

・報告事項の①及び②について、資料2（平成30年度指定管理運営業務評価票）に沿って、事務局が概要説明した後、評価委員会の評価及び指摘、提言を受ける。

・説明は、門真スポーツセンター⇒臨海スポーツセンター⇒体育会館⇒漕艇センターの順に行い、府と指定管理者の評価の違う点等を中心に評価の詳細を説明。

【門真スポーツセンター】

《平成30年度指定管理運営業務評価票の説明》※府と指定管理者の評価の違う点等の説明

・I－（1）－②提案した管理運営方針に沿った管理

近隣市町村へ販売しているプール補助券の売上が昨年度から減少しているため、減点とした。近隣市町村との連携強化を期待する。

<指定管理者の評価点：3点 ⇒ 府の評価：2点>

・Ⅲ－（１）－①事業収支計画、事業収支実績状況

平成30年度の事業収支において、支出が収入を上回る見込みであり、指定管理者の持出があるという現状である。収支改善を期待するということで、減点を行った。

<指定管理者の評価点：3点 ⇒ 府の評価：2点>

《質疑応答》

▲プールの利用者が減った原因は？

△平成28年度から減少傾向にある。その原因としては、近隣にレジャーに特化したプールが設立されたため、そちらに利用者が流れていると思われる。

▲プール補助券販売の具体的な取組内容は？

△指定管理者から近隣市町村へ販売を行い、その時点で指定管理者の売上として計上している。その後は、補助券を利用していただくため、各種働きかけ（ホームページへの掲載など）を実施している。

《評価委員の評価結果》

・府と評価委員の評価は同じ。

・指摘・提言：

・Ⅰ－（２）－②提案した管理運営方針に沿った管理

⇒プール補助券を指定管理者と大阪府で協力し、近隣市町村やその他の団体（スポーツクラブ等）にも売り込んでいくこと。また、プールの活性化という同じ観点から、水泳競技のニーズも増やしていくようにすること。

・広告収入確保（メインアリーナ大型映像広告等）について、実施する価値があるかの検討も必要だが、地元の有力企業を訪問して、広告のお願いに行ってはどうか。マンパワーが足りないのであれば、広告代理店に任すのも1つの手として考えてはどうか。

・広告収入の確保が難しいようであれば、その他の収入確保策（水泳競技会の誘致など）も模索してはどうか。

【臨海スポーツセンター】

《平成30年度指定管理運営業務評価票の説明》※府と指定管理者の評価の違う点等の説明

・今年度はスケートリンク改修工事があり、4～9月はスケートリンクが休止であった。一方、他の施設（体育室やトレーニングルーム）は通年で営業していたため、スケートリンクは休止期間を除いた期間、他の施設は通年で評価となっていることを承知いただきたい。

・Ⅰ－（５）－①施設設備の効果的な維持管理

施設修繕の緊急度に応じて優先順位を付けた一覧表を作成し、それに沿った修繕を実施しており、良好な取組ができています。提案通りの実施と判断し、加点を行った。

<指定管理者の評価点：2点 ⇒ 府の評価：3点>

・Ⅰ－（３）－②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み

南海電鉄へのポスター掲示等の宣伝の効果もあり、スケートリンク以外の施設では去年より利用者が増加した。スケートリンクに関しても、府知事やフィギュアスケート選手が出席した改修工事完成記念イベントの広報成果もあり、客足は好調である。

※評価点の変更なし。

・ I - (5) - ③緊急時の危機管理体制

今年度は台風や地震などの災害があったが、施設の危機管理体制が整っており、迅速に被害把握をしていただいた。所管課としても、次の対応を早期に検討することができ、非常に良い取組をしていただいたと感じている。

※評価点の変更なし

《質疑応答》

▲広告収入確保は難しいと思うが、何か取組みを考えているか。

△具体的な取組に至っていないが、全国的な風潮を見ると、ネーミングライツを導入することも一つの方法と考えている。

▲利用者満足度に関する項目の評価が、2点の理由は？

△回答者の人数が60人程度であり、施設利用者数に対して少ないため2点としている。ただし、回答者数を増やすため、ネット回答（QRコードを読み取る方式）を導入しており、改善が期待される。

《評価委員の評価結果》

・府と評価委員の評価は同じ。

・指摘・提言：

・ II - (1) - ①利用者満足度調査等の実施状況

⇒利用者満足度調査の回答数が少ないので、大阪府と協力してアンケートの取り方を工夫するなど、利用者のニーズを的確に把握できるよう、回答数の確保を図ること。

【体育会館】

《平成30年度指定管理運営業務評価票の説明》※府と指定管理者の評価の違う点等の説明

・ I - (1) - ①施設の設置目的に沿った運営

これまではコンサートに関する興行を行っていなかったが、今年度は新規でコンサート興行を獲得した。これは提案以上の取組みと判断し、加点を行った。

＜指定管理者の評価点：3点 ⇒ 府の評価：4点＞

・ III - (2) - ②管理監督体制・責任体制

良好な体制を築いてはいるが、提案以上の取組みとは言えず、提案通りの取組みとして減点を行った。

＜指定管理者の評価点：4点 ⇒ 府の評価：3点＞

・ III - (3) - ①②法人等事業者の運営基盤、財務状況

提案以上の状況ではない。また、本項目が良好な状況であった他の施設においても、評価点が3点であったことから、足並みを揃えるという観点から減点を行った。

＜指定管理者の評価点：4点 ⇒ 府の評価：3点＞

《質疑応答》

▲コンサート関連の新規利用を獲得したとのことだが、どのような取組みを行ったのか？

△既存の利用者を通じて紹介していただいた。音響も良かったと評価をいただいたので、継

続いてコンサート関連の利用者獲得を目指していく。

《評価委員の評価結果》

- ・府と評価委員の評価は同じ。
- ・指摘・提言：
 - ・4点から3点へ減点を行った項目があったが、4点を取るためにはどうしたら良いか指定管理者に示すと、より良い結果になると考えるため、検討をお願いする。
 - ・自主事業の好例を他施設の指定管理者にも共有し、サービス向上に努めること。
 - ・全体的に良い取組ができていると感じる。収支を更に改善させ、納付金額も上がれば、なお良い。

【漕艇センター】

《平成30年度指定管理運営業務評価票の説明》※府と指定管理者の評価の違う点等の説明

- ・Ⅰ－（５）－①施設設備の効果的な維持管理
建物の維持補修に関しては、艇の維持補修と比べて取組みが弱い。更なる建物への維持補修を期待することから減点を行った。
＜指定管理者の評価点：3点 ⇒ 府の評価：2点＞
- ・Ⅰ－（５）－③緊急時の危機管理体制
今年度の災害に対する被害報告が、休館日であることが重なり初動が遅かった。更なる改善を望むことから減点を行った。
＜指定管理者の評価点：3点 ⇒ 府の評価：2点＞
- ・Ⅰ－（６）－①広告収入等の収入確保策の取組み
広告収入がなく、収入として計上できていないことから減点を行った。
＜指定管理者の評価点：3点 ⇒ 府の評価：2点＞
- ・Ⅰ－（７）－④環境問題への取組み
光熱水費の節減に取り組んでおり、施設の収支改善にもつながっていることから、良好な取組であると判断し、加点を行った。
＜指定管理者の評価点：2点 ⇒ 府の評価：3点＞
- ・Ⅲ－（２）－①職員体制・配置
非常勤職員が1名常駐しているが、災害などの緊急時に他の職員のフォローが弱かったことから減点を行った。
＜指定管理者の評価点：3点 ⇒ 府の評価：2点＞
- ・Ⅲ－（２）－③指導育成・研修体制
研修内容が官公署作成の人権啓発パンフレット等を配布することに留まっており、職員の資質向上を図る観点からは、受講形式の研修を実施すべきと考え、減点を行った。
＜指定管理者の評価点：3点 ⇒ 府の評価：2点＞

《質疑応答》

▲建物の維持補修が行われていないのは、必要性を感じていないからか？

△必要性を感じていないのではなく、緊急性を要しないことから後回しになっているのが現状である。

▲地域水上スポーツクラブの設立に関して、現状を教えてください。

△親子でボートに親しんでもらう教室を開催することで、まずはボートを身近に感じてもらう取組を実施しており、現状は設立をめざしているところである。

《評価委員の評価結果》

- ・府と評価委員の評価は同じ。
- ・指摘・提言：
 - ・Ⅰ－（５）－①施設設備の効果的な維持管理
⇒府がフォローすることで、指定管理者に建物の維持補修計画を立案していただき、確実に実行してもらうこと。
 - ・Ⅰ－（５）－③緊急時の危機管理体制
⇒普段の業務量を考えると常駐人数を増やすのは難しいと思うが、災害などの緊急時には確実にフォローできる体制を整えること。
 - ・Ⅱ－（２）－①さらなるサービス向上の取組み
⇒自主事業の充実に向けて、府として支援できることがあれば、実施していただきたい。
 - ・Ⅲ－（２）－③指導育成・研修体制
⇒漕艇センター独自で研修を行うことは、職員数が少ないことから考えても難しいと思う。他団体が実施している研修に参加してはどうか。

議題② 今後のスケジュールについて

- ・資料１に沿って、事務局がスケジュール概要を説明
- ・指摘・提言に基づき、改善のための対応方針を作成する。
- ・評価結果及び対応方針を、評価委員の確認後、ホームページ上において公表する。

5 閉会

- ・事務局が閉会宣言を行う。